

- ◆企画名 ピア・コミュニティ運営本部 メンバー募集
- 日程 2024年4月15日(月)～2024年5月31日(金)
- 場所 インフォメーションシステム、各種SNS (Instagram・X)
- 参加者数 6名(ピア・サポーター1名、研修生4名、シニア・サポーター1名)

目 的

一般学生にピア・コミュニティについて興味を持ってもらうこと。また、新学期に合わせてピア・コミュニティ運営本部のメンバーを募集し、活動の幅を広げるとともに、メンバー募集を通して、既存メンバーも活動を振り返ることを目的とする。

内 容

- インフォメーションシステム
 - ・「メンバー募集」のお知らせを掲出し、学内にポスターを掲示した。
- Instagram
 - ・個別相談会申し込みの Google フォームをプロフィールに掲載し、ガイダンスへの誘導を行った。
 - ・DMでの問い合わせに対して、Google フォームを送付しガイダンスへの誘導を行った。
- X (旧 Twitter)
 - ・プロフィールに個別相談会申し込みの Google フォームを掲載した。
- その他
 - ・Google フォームに申し込みが来た場合、peerhonbu@gmail.com のメールアドレスで対応し、ピアエリアでの対面形式か Zoom でのオンライン形式で個別相談を行った。



効 果

- ・運営本部ガイダンスの申込者は0名だった。
 - 今年度は運営本部単体のガイダンスとピア・コミュニティ全体のガイダンスを同時に実施していたため、運営本部以外のコミュニティにも興味がある学生はピア・コミュニティ全体のガイダンスに申し込むほか、運営本部のみに興味を持っていても、他のコミュニティと比較をするためにピア・コミュニティ全体のガイダンスに申し込んでいる学生が28名と例年と比較して多かった。
- ・ピア・コミュニティ全体ガイダンスの申込者の中には、インフォメーションシステム内の「お知らせ」を見て、運営本部またはピア・コミュニティに興味を持ったという学生もいた。(ただし、その後ピア・コミュニティ全体のガイダンスフォームを見つけたことでそこから申し込みをした。)
 - 運営本部単体のガイダンスに申し込みはなかったものの、運営本部が(ピア・コミュニティが)メンバー募集を行っているということの広報には繋がっていたと考えられる。

改 善 点

- ・春学期におけるメンバー募集は、ピア・コミュニティ全体の説明やコミュニティ間の違いの説明を新入生等に求められることが多かったため、結果的に運営本部のみのガイダンスはピア・コミュニティ全体のガイダンスに比べて需要が少なかったと考えられる。
 - 運営本部の立ち位置としても、ピア・コミュニティ全体の説明をすることも多かったため、運営本部のみのガイダンスフォームは廃止し、運営本部のメンバー募集の際にピア・コミュニティ全体のフォームを使用しても差し支えないと考える。
 - よって、春学期に行うガイダンス対応については、全コミュニティ共通で全体のフォームを使用し、協力して行うなどの対応の変更を検討していく。

- ・メンバー募集に関して、ガイダンス対応に追われたことで、SNS 投稿にまで手が回らなかった。
- 運営本部の Instagram にはメンバー募集の投稿を行っていないにもかかわらず、プロフィール欄にフォームを記載したのみで個別に問い合わせがきたため、積極的に活用していくべきであると考え。ピア・コミュニティ全体の X (旧 Twitter) 及び運営本部の X (旧 Twitter) については、今後のアカウント自体の運用方法や、投稿方針を固めた上で運用していく。いずれにしても、SNS 担当者を決めて、メンバー募集の際の投稿フローなどを確定させる必要がある。

感想

今期については、運営本部のメンバー募集フォームからはガイダンスの申込者がいなかったものの、ピア・コミュニティ全体としては、ここ数年で最もガイダンスの申込者が多く、加えてガイダンスに申し込みがあった 29 名（1 年次生 21 名、2 年次生 7 名、3 年次生 1 名）のうち、19 名（1 年次生 12 名、2 年次生 6 名、3 年次生 1 名）がピア・コミュニティへ加入するなど、加入率も高かった。

ボランティアガイダンス等を経由して、多くの学生が加入してくれたことは大変嬉しいが、それと同時に SNS 等を通して、来年度はより多くの学生へ広報していくためにはどのようなツールを使用し、どのような伝え方をするのかを考えていく必要があり、またその中で、運営本部のみのガイダンスフォームの必要性などを議論していくことが求められる。